

チャツウッド・パブリックスクールおよび チャツウッド・ハイスクールのアップグレード

インフォメーション・パック

2020年3月



チャツウッド・パブリックスクールの完成予想図。ビルディングG（新設ホール）から西方のビルディングP1および造園の構想が描かれています。

NSW州政府は、州全域の地域社会を支援するため4年間にわたり67億ドルを投資し、190校を超える学校の新築またはアップグレードを行います。加えて政府は、5年間にわたって学校設備のメンテナンスに13億ドルという記録的な費用を投入しています。これらは、NSW州公的教育機関のインフラストラクチャーに対する史上最大の投資となっています。

概要

チャツウッド・パブリックスクールおよびチャツウッド・ハイスクールのアップグレードには、両校の改修工事と集中英語センターのセント・アイブズ・ハイスクールへの移転が含まれています。

広範囲にわたる関係者および地域社会による協議の結果、チャツウッド・パブリックスクールはパシフィック・ハイウェイに面した位置に留め、またチャツウッド・ハイスクールもセンテニアル・アベニューに面した位置に留めて、両校ともに改修を行った従来の建物に新築の建物を組み合わせたデザインが採用されることになりました。

このアップグレードでは以下のような設備が新たに加えられ、地元の地域社会における児童・生徒のニーズを満たし、質の高い教育の提供をサポートします。



キンダーガーテンからYear 12まで、150を超える新設または改修による学習・指導空間



現在、両校に割り振られている良質な遊びの空間の拡張



数学、科学、美術、音楽室などの専門教育施設



舞台芸術専用の空間
(ハイスクール)



スポーツ施設およびレクリエーション区域の新設



図書館と事務室の新設

教育省は、チャツウッド地域においては住宅の増加が続くものと予測しており、入学手続きにかかる負担を軽減するために現在および将来の収容数を満たす必要性について地域社会の意見を伺いました。

入学者数の増加に対応する責任がきっかけとなり、リンドフィールド・ラーニング・ビレッジを含む周囲の学校との境界線の計画的な調整を行い通学区域全体の戦略を策定する経緯となりました。

同省は、この開発申請とは別にチャツウッド地域に小学校の新設を立案中であることを正式に発表します。



画像は、ニュー・サウス・ウェールズ州全域で建設を進めている学習設備の一例です

背景

チャットウッド・パブリックスクールとチャットウッド・ハイスクールは地元コミュニティに教育を提供してきた豊かな歴史があります。

パブリックスクールのオポチュニティクラスやハイスクールにおける選抜クラスなど、優れた教育において名声が高く、両校とも入学率が伸び、現在および将来の予測収容数を超え、各校の利用可能な空間および施設に大きな負担がかかる結果となっています。

チャットウッド・パブリックスクールとチャットウッド・ハイスクールのアップグレードに対するコミュニティの期待は大きく、また歓迎されています。

チャットウッド・パブリックスクール

チャットウッド・パブリックスクールは、パシフィック・ハイウェイに面し、過去10年間にわたり入学者数が急増しました。当校は学業、音楽、バイリンガルのプログラムを重要視し、選抜きの学校となりました。当校は2つの敷地にまたがるキャンパスという構成です。キンダーガーデンからYear 2までと Year 5 とYear 6はパシフィック・ハイウェイ側の敷地にあります。Year 3と Year 4は「ブッシュ・キャンパス」でチャットウッド・ハイスクールの土地にあります。この敷地は収容数の問題に対応するために取り外し可能な教室を使用して設置されました。

収容数と戸外の遊び場についての懸念に対処するためパブリックスクールの再開発がコミュニティによって大いに期待されてきました。

パブリックスクールには伝統的に重要な建物が存在し、地域社会は特に当初の学校の建物の伝統的価値に対して愛着があり、その敷地にあるパブリックスクールの歴史と結びつけています。

チャットウッド・ハイスクール

チャットウッド・ハイスクールはセンテニアル・アベニューに面しており、50年以上前に設立されました。当校は学業でも卓越し、英才教育プログラム、選抜クラス、音楽のプログラムもあることで有名です。地域の人口増加によって私立学校よりもチャットウッド・ハイスクールを選択する家庭が増え、入学者数の増加という結果となったのです。

建築プログラムは2009年に開始し、4期中2期まで完了しました。

集中英語センター

集中英語センター (IEC) は、チャットウッド・ハイスクールの土地にあり、別の教育施設として運営されています。生徒が地元のNSW州公立ハイスクールに入学する準備をするために、教育省の多文化プログラム局によって開発された集中英語プログラムを提供しています。

立案プロセス

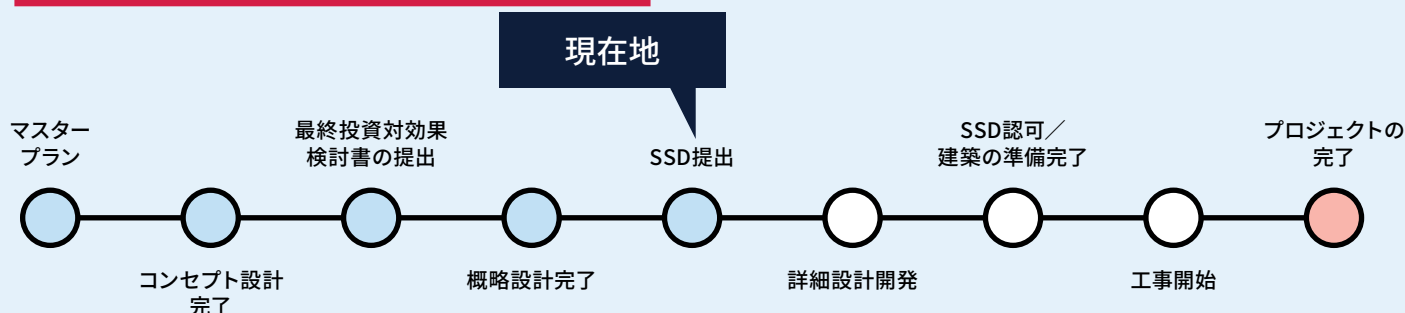
チャットウッド・パブリックスクールとチャットウッド・ハイスクールのアップグレードのための州主要開発 (SSD) 申請を企画・産業・環境省 (DPIE) に提出済みで、現在一般市民に公示中です。

提案その他は28日間の公示期間中、直接DPIEまで郵便またはオンラインで提出する必要があります。

このプロジェクトのSSD申請は、各ビルの位置、規模、外構などとともに設計に対する承認を求めるものです。

申請は、Secretary's Environmental Assessment Requirements (SEARs) に明示されているように環境影響声明文 (EIS) を添付する必要があります。

プロジェクトのスケジュール



環境評価

州主要開発 (SSD) の申請のために環境影響声明文 (EIS) が作成されました。EISには立案プロセスの重要な部分である技術的調査が織り込まれ、プロジェクトの環境影響に関して、意思決定者に情報を提供します。

技術的調査は、研究、現地踏査、測量と評価、データ分析およびコミュニティと利害関係者との協議内容が含まれます。交通、騒音、運営、伝統的遺産および施工管理も検討されます。

SSD申請書 (EISを含む) は現在公示中で、提案その他はDPIEに直接提出する必要があります。さらなる詳細は、下記のウェブサイトをご参照ください。
<https://www.planningportal.nsw.gov.au/major-projects/project/10561>

EISのために実施された技術調査には、以下の内容が含まれています。

- 社会影響分析
- 設計分析
- 交通と運輸
- 騒音と振動
- 遺産
- 先住民族に関連した査定
- 生態上持続可能な開発
- 事前の施工管理
- 水力
- 汚染
- オーストラリア建築基準の遵守
- 廃棄物管理
- 植物相と動物相
- 土木工事／道路工事計画／雨水管理
- インフラ報告書
- 構造声明文
- アクセシビリティの評価

コミュニティとの協議

コミュニティおよび利害関係者との協議は、立案プロセスの重要な部分をなし、企画・産業・環境省 (DPIE) により規定された要件となっています。

早期の相談によって学校コミュニティ、近所の人やその他利害関係者は重要事項に関する内容が明確になり、フィードバックは企画を知らせるために設計チームと共有されました。

原案に対する改善案として、チャツウッド・パブリックスクールをパシフィック・ハイウェイ沿いに、チャツウッド・ハイスクールをセンテニアル・アベニュー沿いに保つというコンセプトに改訂する結果をもたらしました。

日付	相談活動	対象となる利害関係者
2018年8月～ 2019年10月	11回のコミュニティ情報セッション	• チャツウッド・パブリックスクールのコミュニティ • チャツウッド・ハイスクール、パブリックスクール、チャツウッド集中英語センター (IEC) のスタッフ • 地域住民
2018年12月～ 2019年12月	学校コミュニティの関与 – 10回に及ぶ設計ユーザグループの会合	• チャツウッド・ハイスクールおよびパブリックスクールのスタッフと生徒
2019年3月	現地視察	• 地元のアボリジニ・ランド・カOUNシル
2019年5月～ 2020年1月	学校コミュニティの関与 – 4回の学校視察	• チャツウッド・パブリックスクールおよびハイスクールの学校長、P&C会長 (ノース・ケリーヴィル・パブリックスクール、ベラヴィスタ・パブリックスクール、キャメレイガル・ハイスクール、スモールズ・ロード・パブリックスクールの視察)
2019年5月	学校コミュニティの関与 – チャツウッド IECワークショップ	• チャツウッド・ハイスクールおよびセント・アイブズ・ハイスクールの学校長とチャツウッドIEC
2019年10月	学校コミュニティの関与 – ミーティング	• チャツウッド・パブリックスクールP&C
2019年11月	学校コミュニティの関与 – ワークショップ	• チャツウッド・パブリックスクールP&C
2019年11月	学校コミュニティの関与 – ミーティング	• チャツウッド・パブリックスクールP&C

チャツウッド・パブリックスクールのアップグレード

提案されたパブリックスクールの設計は、現地の複雑さと地域独特の特徴と周囲の不動産とを組み合わせ、コミュニティのニーズを考慮しています。

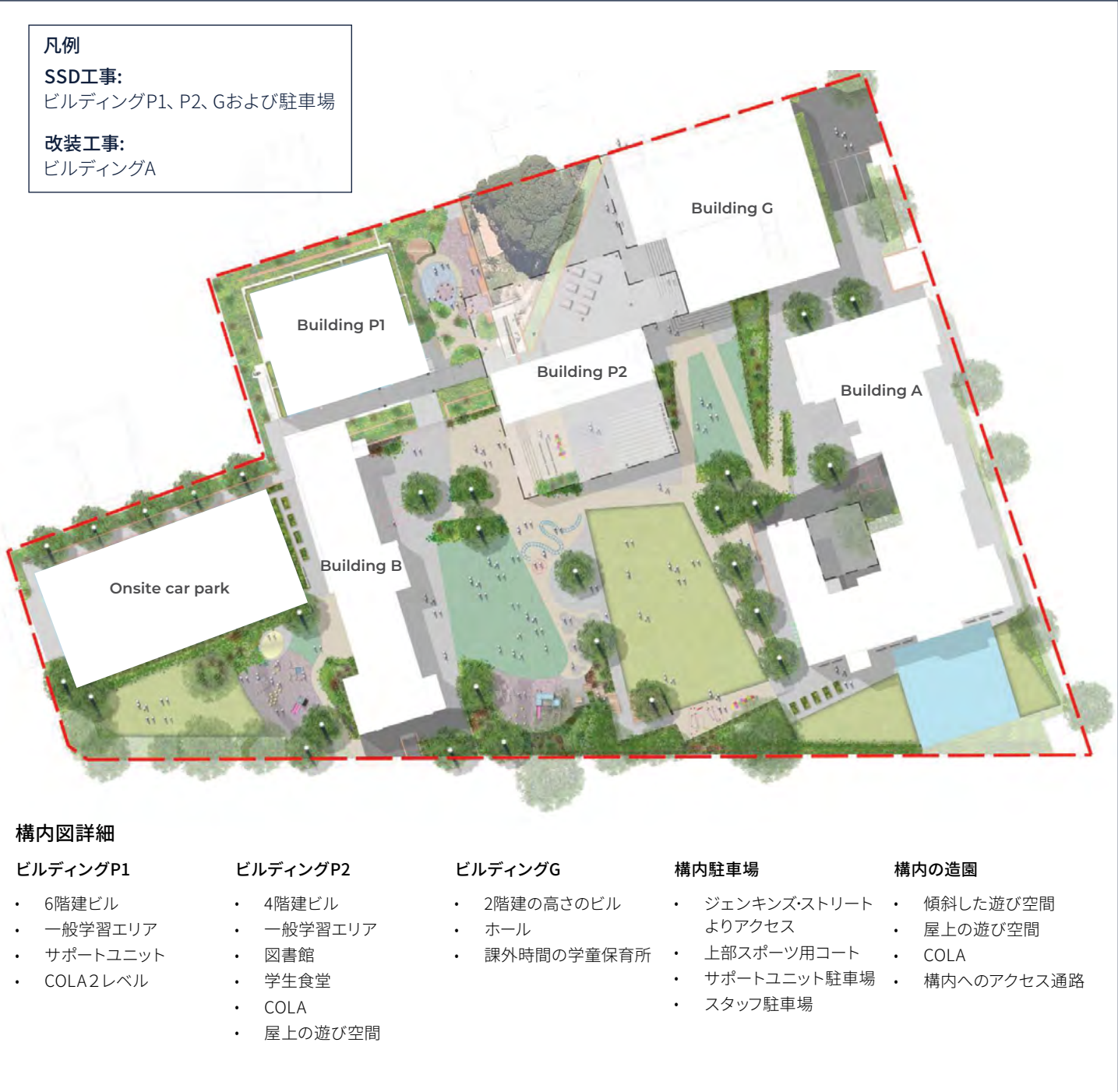
教育省が原案に修正を加え、現在の入学者数を新築および既設の建物で60の学習空間に収容できる設計にしました。パブリックスクールはチャツウッド・ハイスクールにあるブッシュキャンパスを必要な期間にわたり留保できる機会も与えられています。

提案された設計は2棟の複数階のビル、新設ホール、スタッフ用の構内駐車場、造園とCOLA（屋根付き戸外学習エリア）があります。

2棟の複数階ビル（P1およびP2）は学校の北部境界線の「低層部」にあり、土地の勾配を最大限に利用してビル全体の大きさと規模を小さく見せます。隣接する不動産への視覚的、音響的快適性も上品な正面の仕上げで最小に抑え、光沢も控え目です。

ホールはパシフィック・ハイウェイに面しており、学校のセキュリティを維持する一方で、地域社会の利用者は容易にアクセスできます。

緊急時の出入口と荷物積み下ろし場はパシフィック・ハイウェイから少し離れた場所で、新設のスタッフ専用駐車場と二つ目の荷物積み下ろし場はジェンキンス・ストリート側になります。



周辺の風景 - チャツウッド・パブリックスクール



チャツウッド・ハイスクールのアップグレード

チャツウッド・ハイスクールのアップグレードには4棟の新築複数階ビル、新設ホール、造園、COLA（屋根付き戸外学習エリア）と出入口通路の建設などが含まれています。生徒は新築および既存のビルにわたり123教室に収容可能です。

新築のビル（Q、R、S、T）は北と西の境界付近に位置し、利用可能な土地を最大利用するとともに周辺の不動産への影響を最小限にとどめ、キャンパスへの出入りを改善します。各ビルは、既存の生物学的多様性領域、野鳥の生態、周囲の住民のプライバシーを尊重し、境界線から十分な空間を保っています。

新設のホール（ビルディングT）はセンテニアル・アベニュー側入口の近くにあり、構内のセキュリティを確保しつつ、コミュニティの利用者へのアクセスを容易にします。既存のホールはプロジェクト完成時点で保留して少人数のパフォーマンス空間、一般学習エリアに利用されます。

現在の車によるアクセスポイントは工事完成後も同じで、荷物積み下ろし場はデ・ヴィリアーズ・アベニューとセンテニアル・アベニューから、また緊急時のアクセスはエディ・ロードからとなります。構内スタッフ駐車場はプロジェクト完了後、復元されます。

ビルディングRは州主要開発事業の申請とは別個に行われ、適合開発認可（complying development）の下、2020年後半に登録される予定となっています。適合開発認可の申請は地方自治体または独立認証者によって決定され、一連の規定された認証条件を満たしている必要があります。



構内図詳細

ビルディングQ

- ・ 4階建ビル
- ・ 一般学習エリア
- ・ 学生食堂
- ・ 事務室／スタッフ研究室
- ・ 視覚芸術
- ・ シニア用図書室設備

ビルディングS

- ・ 5階建ビル
- ・ 科学
- ・ CAPA
- ・ 一般学習エリア

ビルディングT

- ・ 2階建の高さのビル
- ・ ホール
- ・ パフォーマンス

ビルディングR（適合開発認可）

- ・ 4階建ビル
- ・ サポートユニット
- ・ iStem

周辺の景観 - チャツウッド・ハイスクール



完成予想図：提案されたチャツウッド・ハイスクールのセンチニアル・アベニュー側の玄関



チャツウッド・ハイスクール中央戶外スペースの完成予想図。南方のビルディングSに向かって

適合開発認可によるビルディングRの建築

2020年の後半には、SSD申請とは別個に、適合開発認可の下にビルディングRの工事が開始される予定です。計画・産業・環境省は適合開発について「簡潔な開発事業を対象とした計画および施工の承認プロセスを組み合わせたプランニング・パスウェイであり、地方自治体または認可を受けた認証機関による迅速な評価を通して決定が可能であるもの」と定義しています。

ビルディングRは、位置、高さ、面積、用途と工事の総額で開発基準を満たしており、現場には解体を必要とする恒久的建築物がありません。

ビルディングRは、恒久的な新設の18教室と4室のサポート教室を提供するプロジェクトの段階的な実行を可能にし、学校の他の部分より工事が早く進行します。

正式認可を受けた認証機関が建築物の計画および建築プロセスを審査します。認可の条件次第で建設工事着工前に適合開発証明書が発行されます。



完成予想図：チャツウッド・ハイスクールのビルディングR

予定されたプロジェクトの段階および建設

教育省は、責任をもって児童・生徒や職員、さらに地域社会への負担や不便をできる限り最低限に止め、一貫した段階的な計画を提供します。同計画の最終案は、主な請負業者を指名後、また地域社会との協議に基づいて決定されます。

第1期

- ・ チャツウッド・ハイスクールの北東角に位置するビルディングRの工事開始
- ・ すべての改修工事の詳細設計プランニング

第2期

- ・ SSD認可を待ち、両敷地のSSD工事の建設開始

第3期

- ・ 必要に応じて既存ビルの再利用と改修
- ・ 外部の造園作業を完了

適合開発認可の下、ビルディングRの建設は2020年に、残りのSSD工事は認可がおりれば2021年に着工予定。完成は2023年後半の予定です。



チャツウッド・ハイスクールの完成予想図。北西のビルディングQに向かって

施工管理

教育省は、工事中、皆さまに直近に予定されている工事と工事による予測される影響について定期的に最新情報を提供します。以下の建設内容を検討するために施工環境管理計画が作成されます。

工事作業時間

標準的な工事の時間は、月曜日から金曜日の7:00amから6:00pmまで、必要に応じて、土曜日は地方自治体の規定どおりの時間。

騒音と粉塵

工事期間中、騒音は最小限にとどめ、解体作業や工事による粉塵は必要に応じてホースで洗い流します。

交通

同省は、混み合う時間帯のセンテニアル・アベニューと周辺道路の交通渋滞の現状を認識しております。スタッフ及び生徒の安全を確保するために工事中の対策を建設交通管理計画にまとめます。この計画には現在の乗車/降車ゾーン、工事用車両の動きに関する検討内容、また既存の道路標識および交通整理の手順が盛り込まれます。

駐車

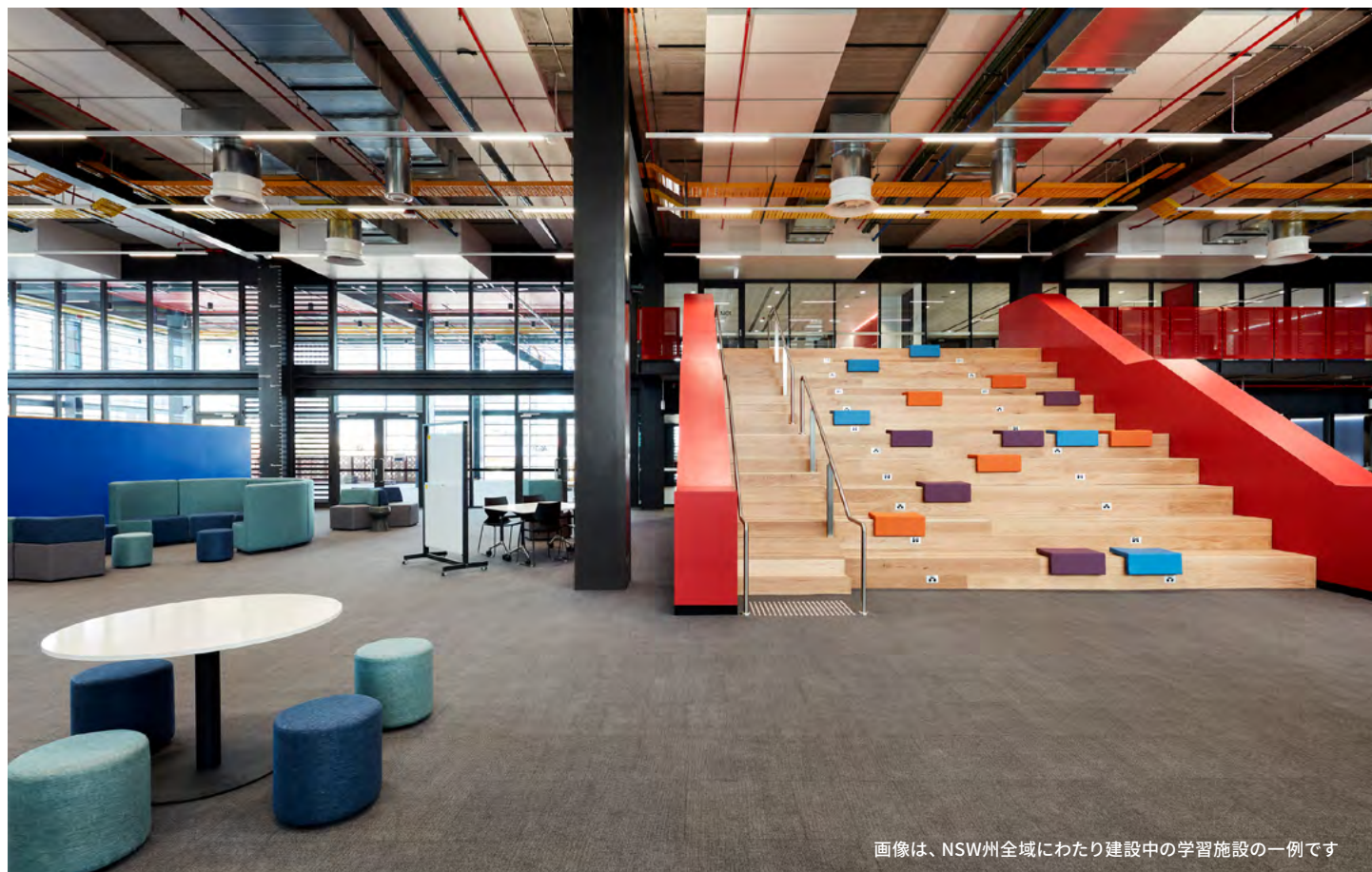
工事中、両校の構内駐車場は一時的に利用できません。両校ともチャットウツのインターチェンジから近接距離にあり、公共輸送機関でアクセスが容易です。教育省はスタッフおよび生徒はグリーン・トラベル計画と一致する持続可能な交通手段の選択をするよう奨励します。構内の駐車場は工事完了後に再び利用可能になります。

安全

学校インフラNSWは作業が安全かつ効率的に、また地域社会への影響も最低限度に留めて行われるよう責任を持ちます。工事着工前に危険物質は現場から除去されます。この作業はセーフワークNSWの規程に織り込まれている規制上の要件に従って実施されます。

作業期間中、厳しい安全と警備の手段を講じます。これには工事区域を柵で囲うことも含まれます。スタッフや生徒が工事区域に出入りすることはできません。ただし、その区域で何が起きているか児童・生徒が見ることができるように、観察用パネルが設置される場合もあります。

プロジェクトチームは工事の進捗状況について話し合うために学校と定期的に協議します。安全に関するすべての懸念事項に対応いたします。児童・生徒と職員、さらに周辺住民の健康、安全、福祉は、当省にとりましても最優先事項となっています。



画像は、NSW州全域にわたり建設中の学習施設の一例です



次なるステップ

チャットウッド・パブリックスクールおよびチャットウッド・ハイスクールのアップグレードについて最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。

両校のアップグレードのため、州主要開発 (SDD) 事業の申請は既に計画・産業・環境省 (DPIE) に提出され、その内容は一般公開されています。

提案その他は、28日間の公示期間中に**DPIE宛まで直接**、郵便またはオンラインで提出する必要があります。

ご意見・お問い合わせは以下まで

郵送宛先:

Planning Services, Department of Planning, Industry and Environment
GPO Box 39 Sydney NSW 2001

インターネット:

<https://www.planningportal.nsw.gov.au/major-projects/have-your-say>

さらに詳しい情報について

当省は、児童・生徒のために可能な限り最善の学習施設を提供するために学校コミュニティおよび他の利害関係者と協力して作業を進めることを約束いたします。

プロジェクトの進捗に伴い、地元の学校コミュニティおよび住民に近況をお知らせします。

最新情報について



ウェブサイト

下記、スクール・インフラストラクチャーNSWのウェブサイトをご参照ください。
schoolinfrastructure.nsw.gov.au



電話

お電話でのお問い合わせは月曜日～金曜日、
9am～5pmの間にお受けいたしております。
Tel: 1300 482 651